

第1回 大宮公園周辺道路問題検討委員会

令和7年 12月25日(木)

- 1 開催日時
令和7年12月25日（木曜日）午前10時～12時
- 2 会場
埼玉県庁 都市整備部会議室（Web会議併用）
- 3 第1回 大宮公園周辺道路問題検討委員会の内容
 - （1）背景と目的
⇒委員会設置に至る背景、検討の目的の確認
 - （2）大宮スーパー・ボールパークの概要
⇒現在検討中の大宮スーパー・ボールパーク構想の概要
 - （3）現在の交通状況
⇒都市計画道路の整備状況、交通量、混雑度・主要渋滞箇所、旅行速度
アクセス手段
 - （4）関連プロジェクトの状況
⇒核都市広域幹線道路、地下鉄7号線延伸、大宮GCS構想、
大宮駅西口交通結節点事業計画、新大宮上尾道路の概要
 - （5）今後の予定
⇒委員会での議論のテーマ（案）、今後の進め方（案）

■ 背景と目的

- ・現在、大宮公園の主要施設である3つの競技場（双輪場・野球場・サッカー場）を含むエリアの整備により、大宮公園を『試合がある日もない日も楽しめる公園』とする大宮スーパー・ボールパーク構想（以下、「構想」という。）の実現に向けた検討が進められている。
- ・構想の実現にあたっては、県民から交通混雑のさらなる悪化を懸念する声が見られている。
- ・構想の推進と合わせて交通混雑環境の把握や具体的な対策等を検討する大宮公園周辺道路問題検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

野球場



出典：埼玉県大宮公園HP

サッカー場（NACK5スタジアム）



出典：NACK5スタジアム大宮HP

(1)大宮公園の状況

➤大宮公園は「日本の公園の父」と称される本多静六らの計画により整備がなされ、行楽地や桜の名所、スポーツ・レクリエーションの拠点等の役割を果たし、多くの方に親しまれている。



氷川神社



舟遊池



自由広場



氷川参道



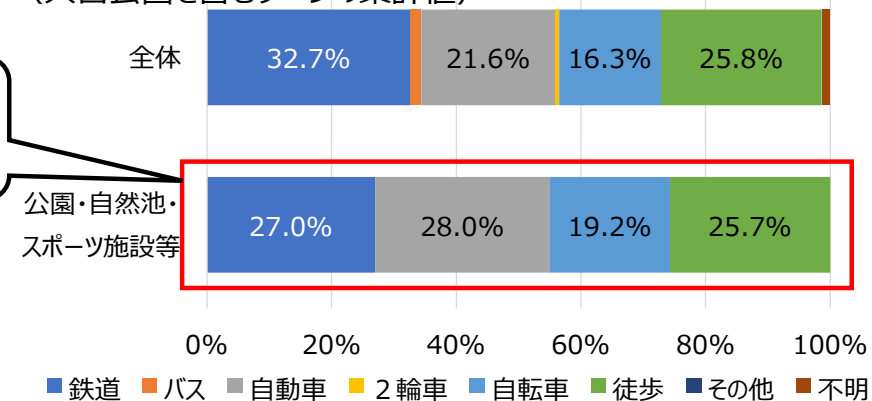
園路



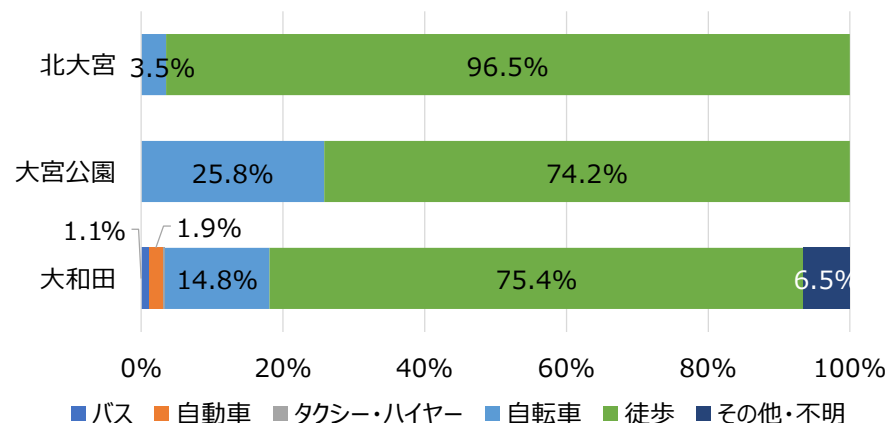
(1) アクセス手段

- ▶ 大宮公園へのアクセス方法は、鉄道やバスなどの公共交通機関、自動車・自転車などでのアクセスが案内されている。
- ▶ 代表交通手段別分担率より、自動車や鉄道、自転車、徒歩でのアクセスが主である。
- ▶ 大宮公園の駐車場へは、県道35号（産業道路）や県道2号（大宮岩槻線）を介してのアクセスとなる。

▼交通アクセス

▼代表交通手段別・発着施設別集中度
(大宮公園を含むゾーンを集計値)

▼駅端末交通手段別分担率

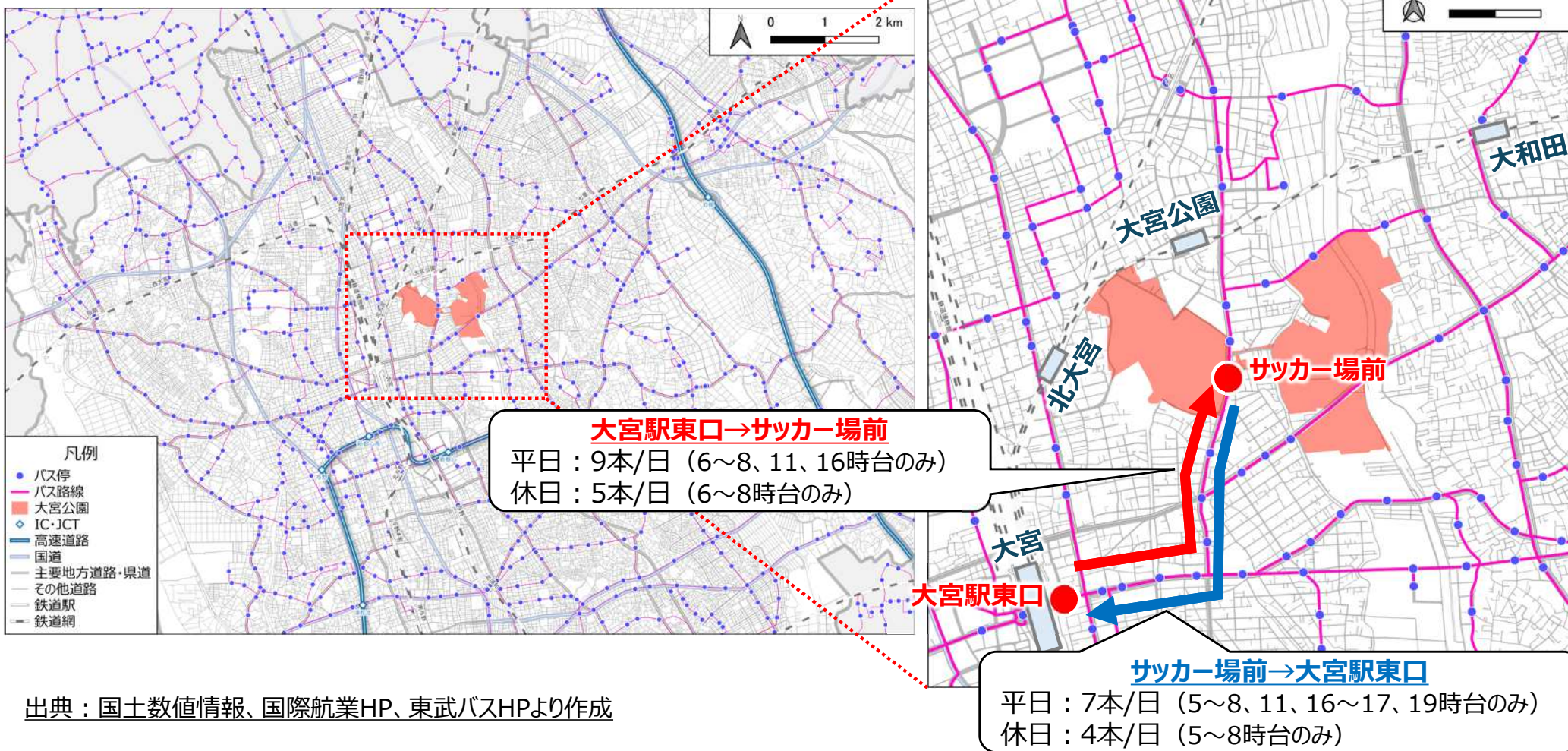


出典：H30東京都市圏パーソントリップ調査

(1) アクセス手段 (バスでのアクセス)

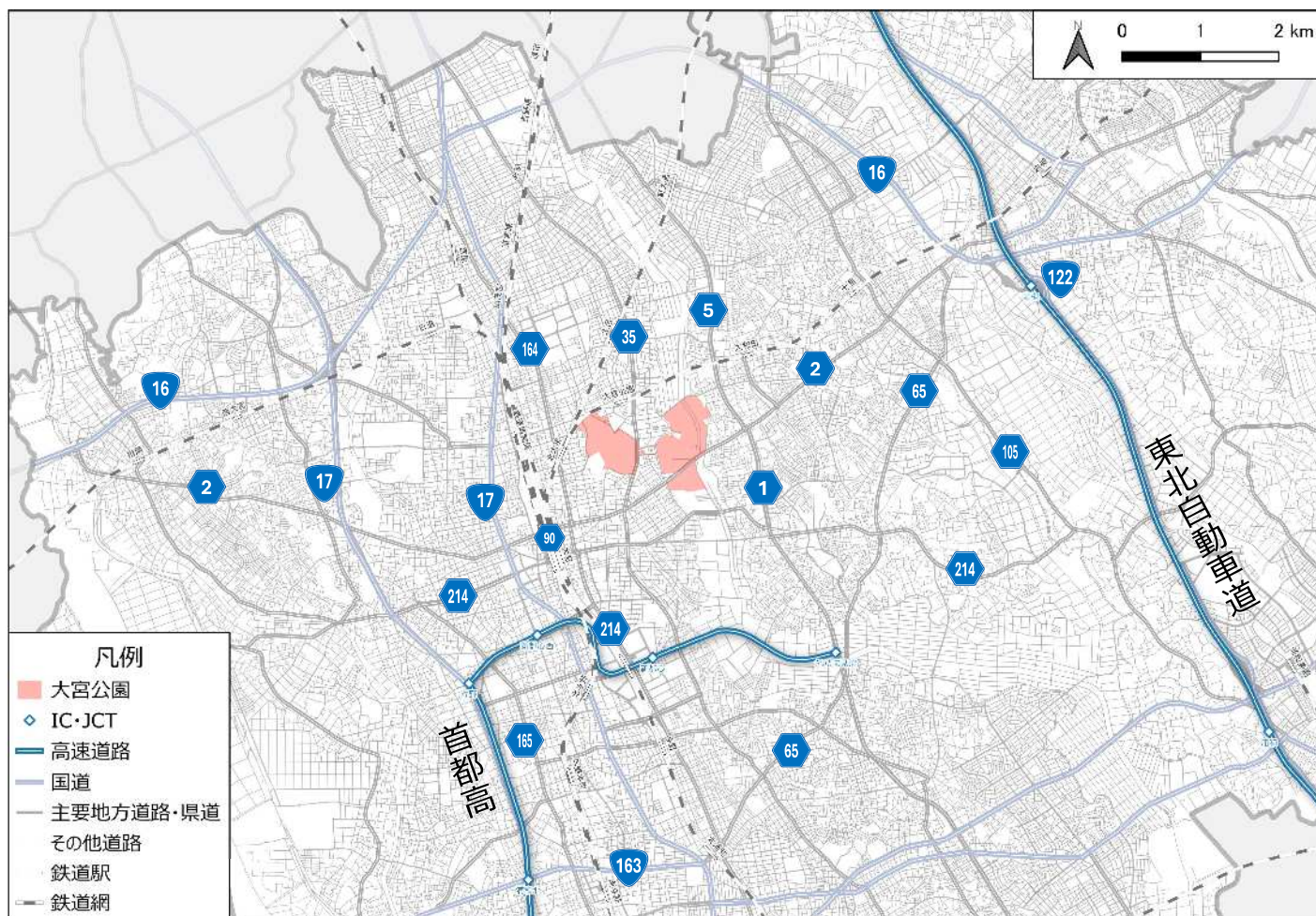
- ▶ 大宮公園へバスで向かう場合は、大宮駅東口からサッカー場前へのアクセスが案内されている。
- ▶ 大宮駅と大宮公園（サッカー場前）間の運行本数は少なく、限られた時間帯でしか運行していない。
- ▶ ただし、競輪開催時は大宮駅西口から無料シャトルバスが20分間隔で運行している。

▼バス路線



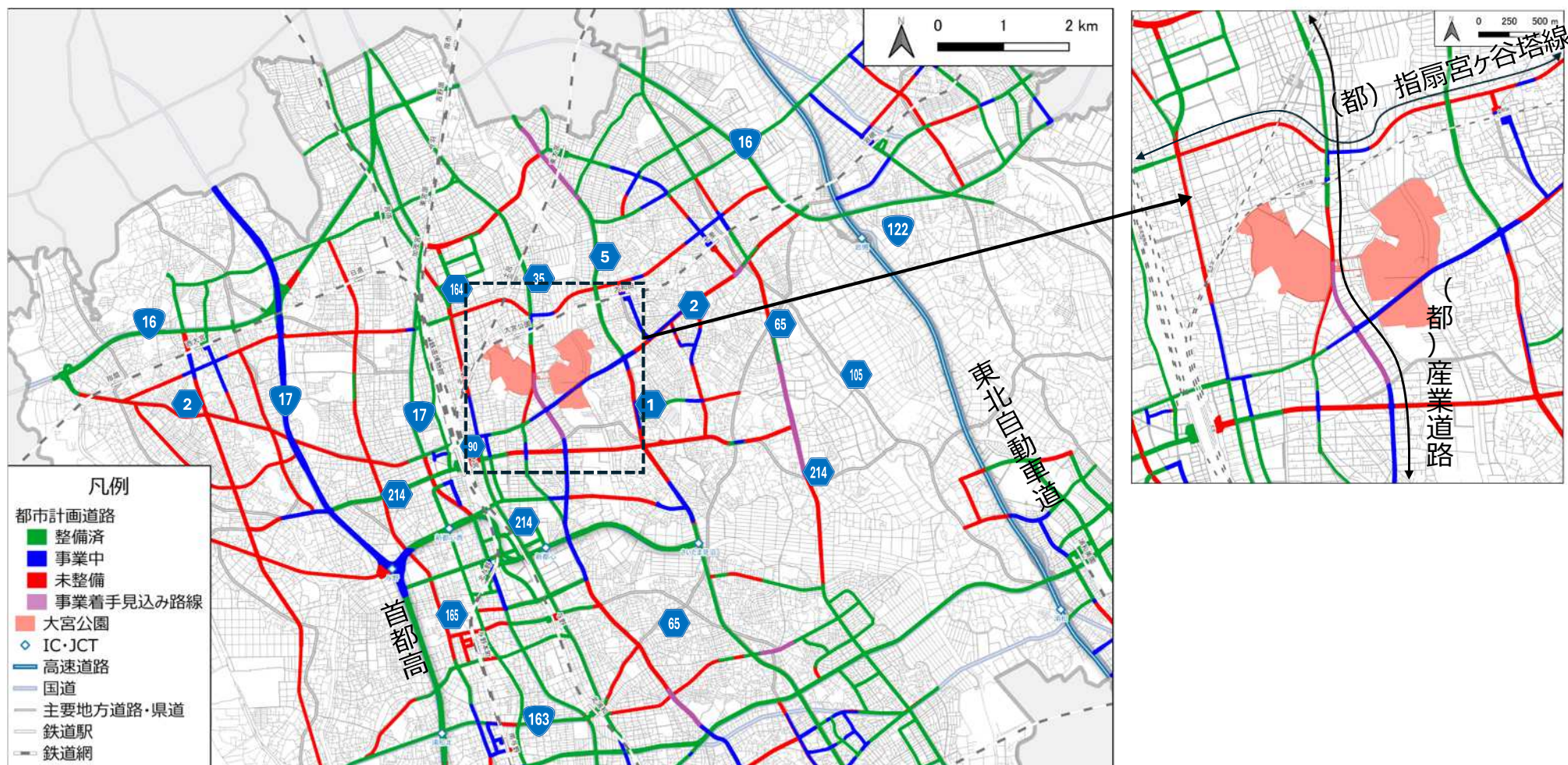
(2) 道路網の状況

- ▶ 大宮公園周辺の主たる道路網は、公園の中央を南北に通過する県道35号（産業道路）や公園南側を東西に通過する県道2号（大宮岩槻線）などがある。
- ▶ 県道以上の規格が高い道路のみで見ると、東西方向の道路が相対的に少ない。



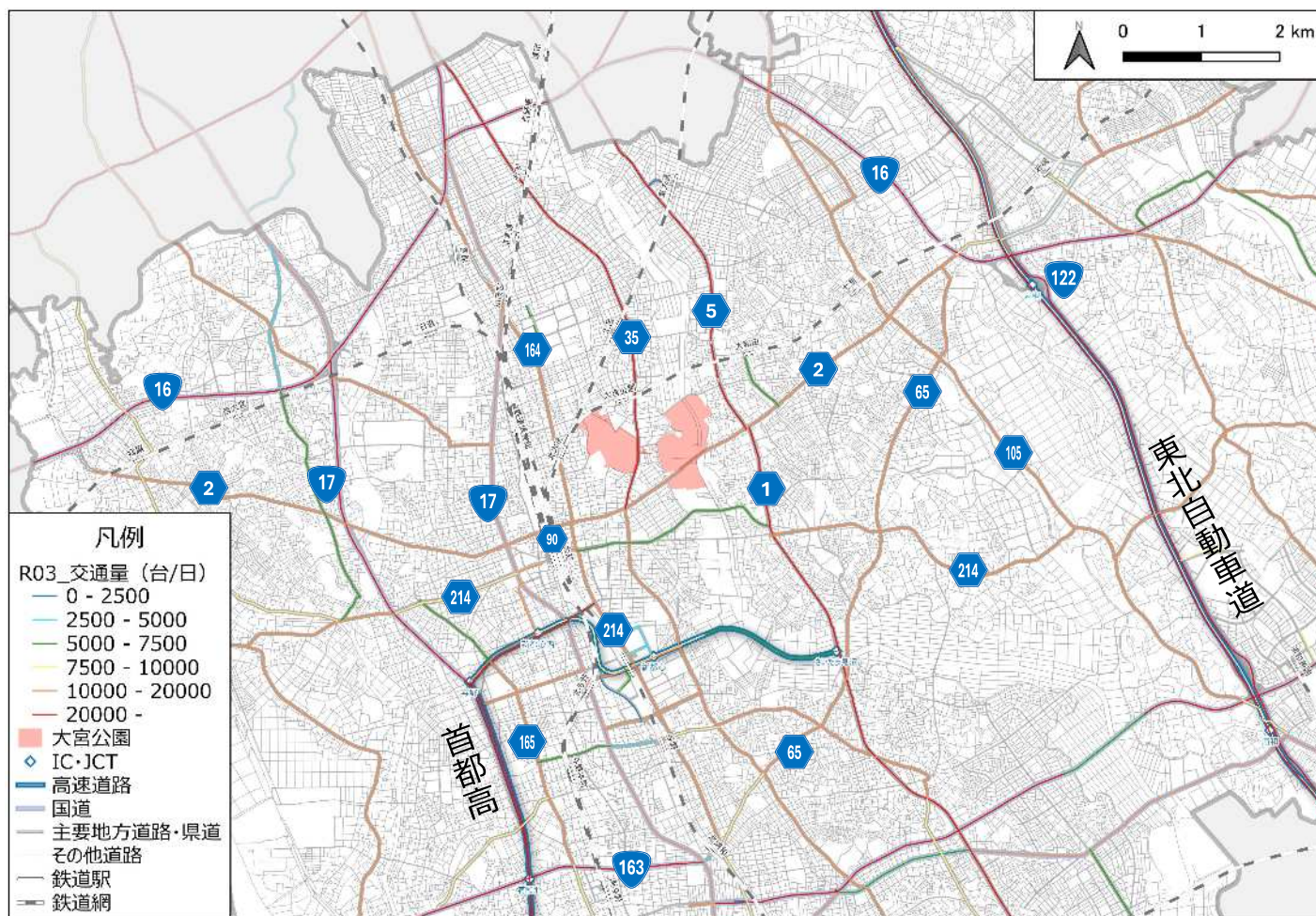
(3) 都市計画道路の整備状況

- ▶ 大宮公園駅周辺の都市計画道路は、南北方向の産業道路の一部が事業着手見込みであり、今後整備が進められる。
- ▶ 一方で東西方向の（都）指扇宮ヶ谷塔線は、ほとんどの区間が未整備である。



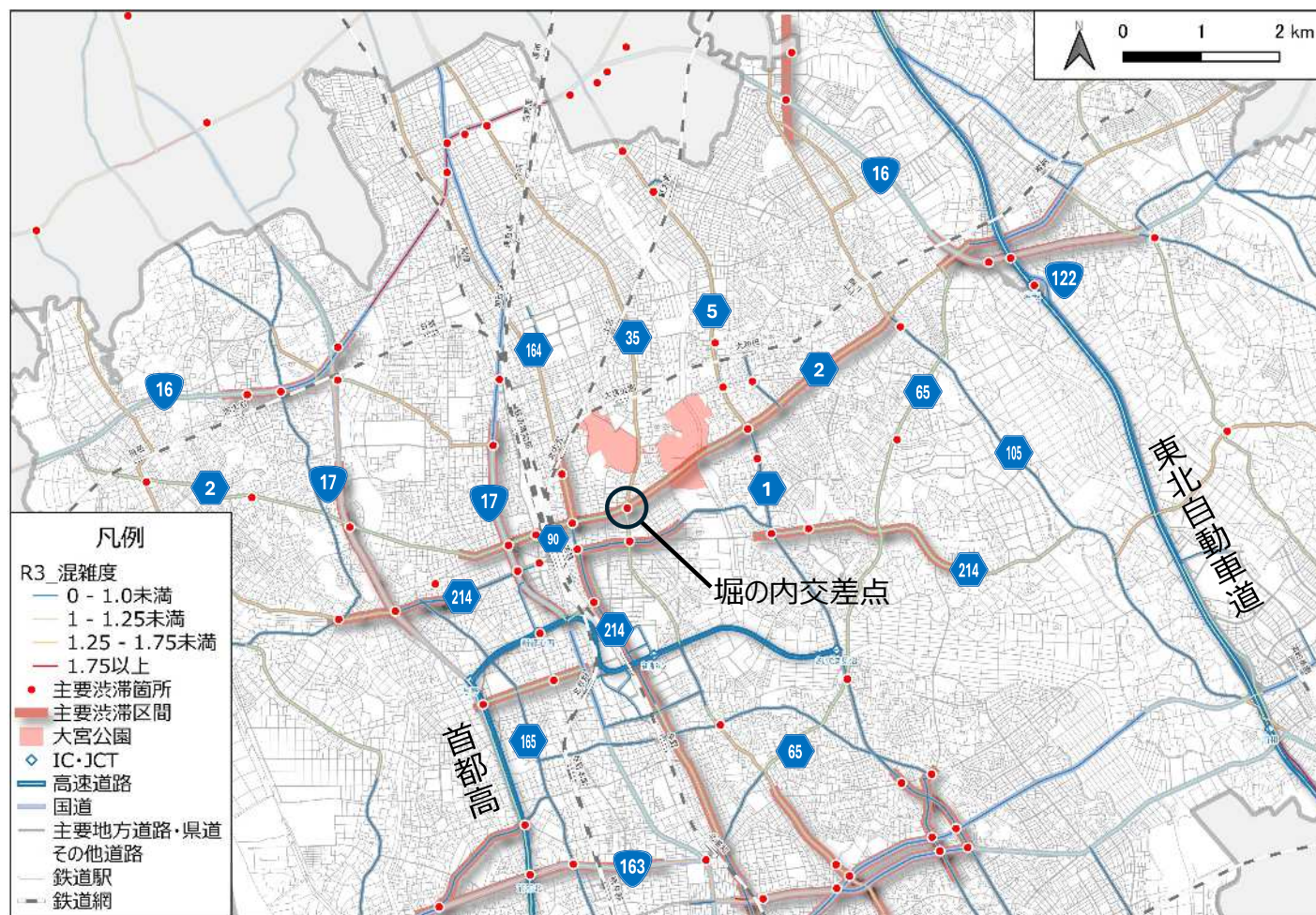
(4)交通量

- ▶大宮公園周辺は、県道35号（産業道路）や県道5号（第2産業道路）の交通量が20,000台/日と相対的に多く、南北の幹線道路として機能している。



(5)混雑度・主要渋滞箇所

- ▶ 大宮公園周辺は、県道35号（産業道路）や県道5号（第2産業道路）、県道164号（旧中山道）で混雑度が1.25を超えている。
- ▶ 県道2号（大宮岩槻線）は主要渋滞区間に指定されており、大宮公園に近接する堀の内交差点は主要渋滞箇所に指定されている。



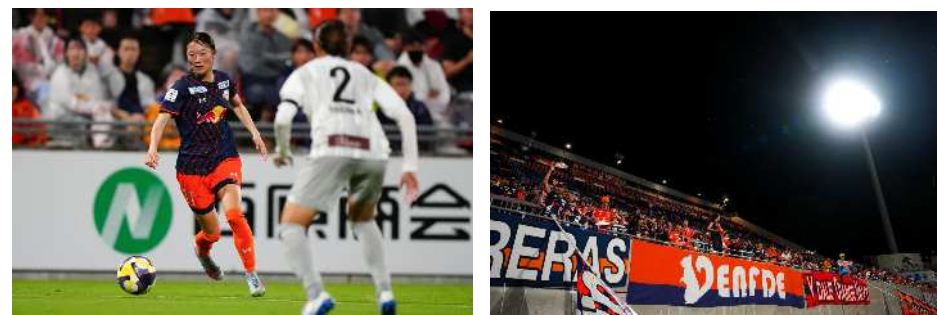
(6) 旅行速度

- ▶ 平常時およびイベント（祭りやスポーツ試合）時における周辺道路の旅行速度を比較した。
- ▶ 対象日は 平常時：8/3（日）、イベント日：8/10（日）とした。
- ▶ 時間帯は8時台およびキックオフ開始1時間前の17時台で比較した。

▼2025年8月における催し物（主たるもの）

日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
26	27	28	29	30	01 祭り	02 サッカー
03	04	05	06	07	08	09 サッカー
10 サッカー	11	12	13	14	15 競輪	16
17 競輪	18	19	20	21	22	23 サッカー
24 サッカー	25	26	27	28	29	30 サッカー
31	01	02	03	04	05	06

▼8/10 WEリーグ（女子プロサッカー）



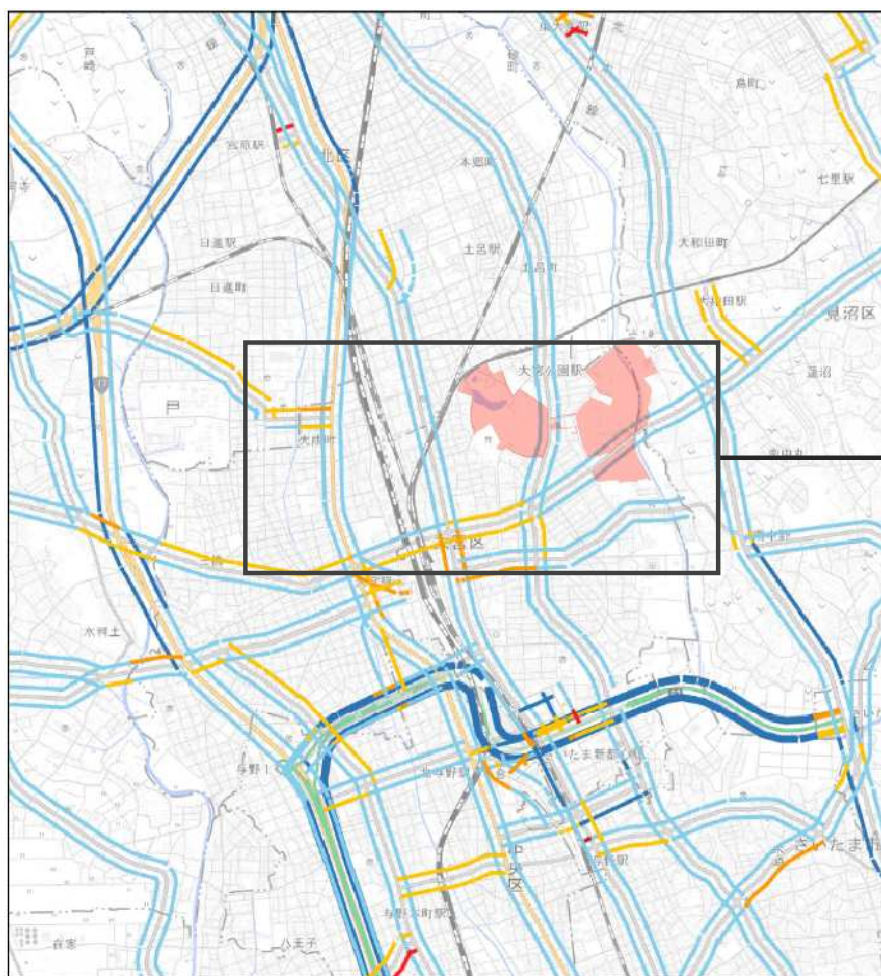
タイムスケジュール

- 15:00 横断幕事前搬入(ピジターは入場後設置)
- 15:30 待機列整理、当日券販売開始(当日券売場)
- 16:00 開場
- 18:00 キックオフ
- 18:50 ハーフタイム
- 19:55 試合終了

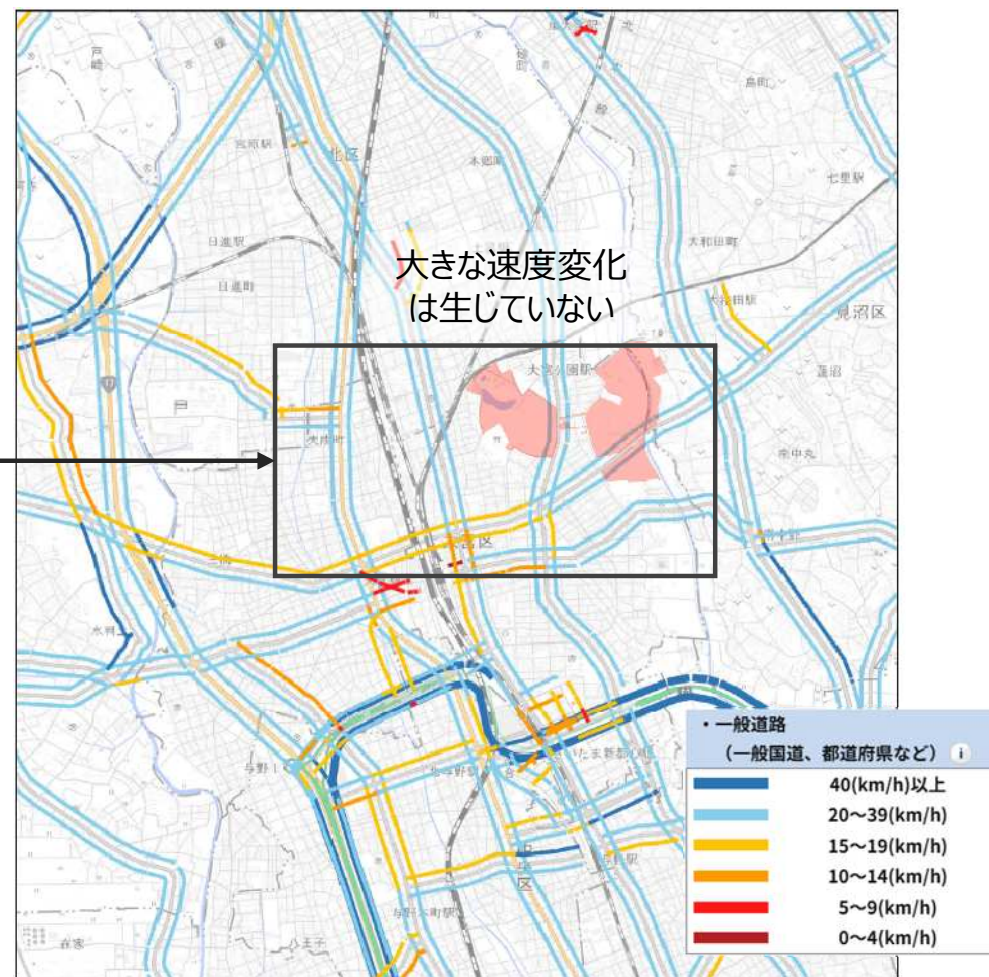
(6) 旅行速度 (続き)

▶ 8時台では、大宮公園周辺でイベントの有無による大きな速度変化は生じていない

▼ 平常時 (2025.08.03 (日) 8時台)



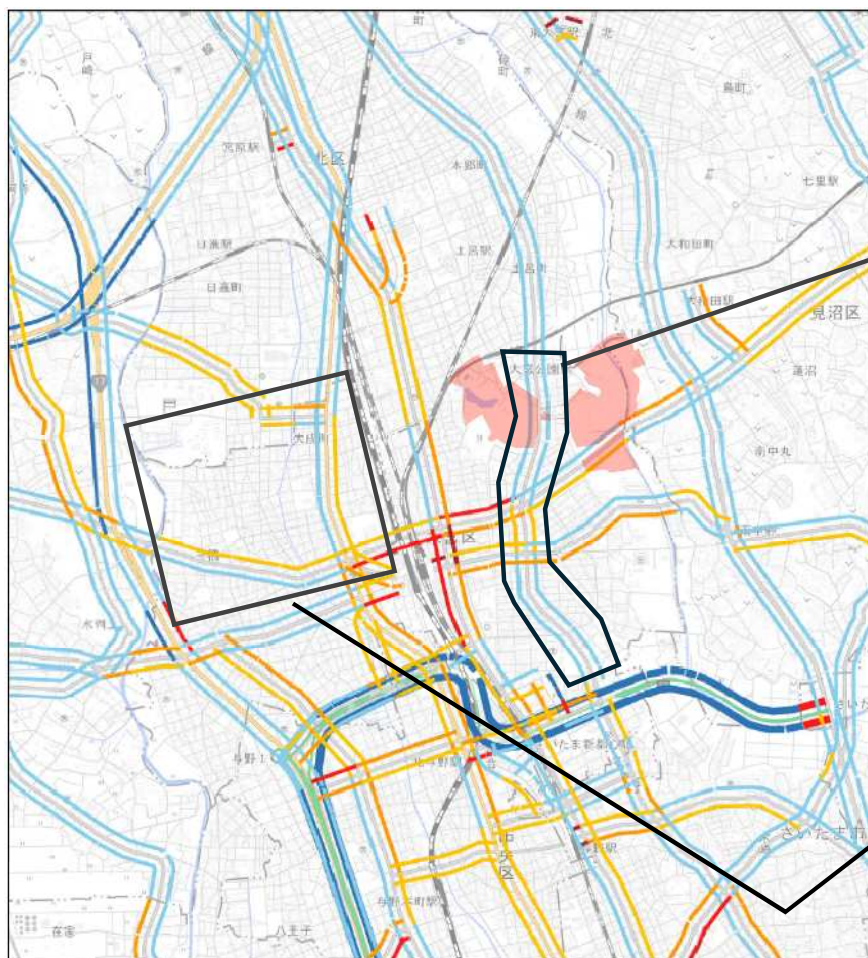
▼ 平常時 (2025.08.10 (日) 8時台)



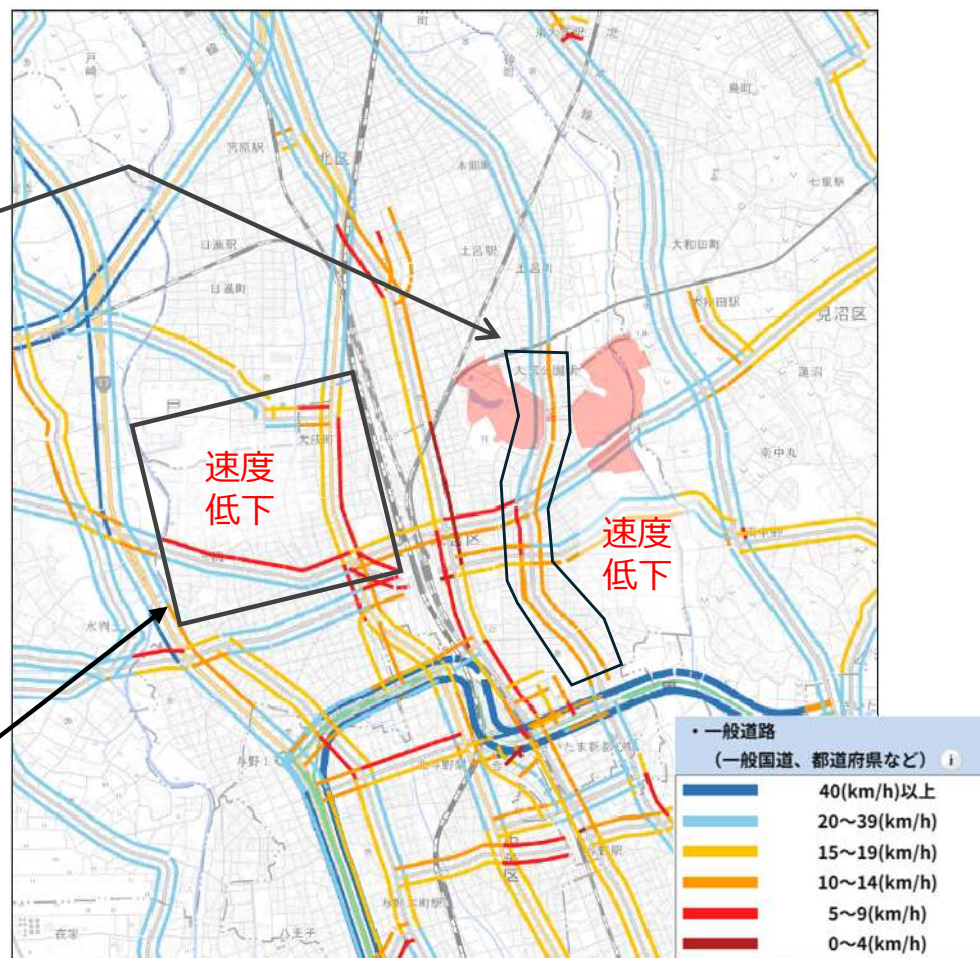
(6) 旅行速度 (続き)

- ▶ 17時台では、イベント時に産業道路の速度が低下しており、産業道路へ通じる大宮岩槻線や並行する中山道の速度も低下している。

▼ 平常時 (2025.08.03 (日) 17時台)



▼ サッカー試合直前 (2025.08.10 (日) 17時台)



▶「大宮スーパー・ボールパーク構想」以外にも、周辺には大規模なプロジェクトが進行・検討中である。



(1)核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）

- ▶核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）は、起点（さいたま見沼 I C） 終点（東北道（浦和 I C・岩槻 I C間）付近）として検討が進められている。
- ▶求められるサービスレベルは、多車線の自動車専用道路である。



※東北道付近については、接続するおおよかな位置を示しています。

(2)地下鉄7号線延伸計画

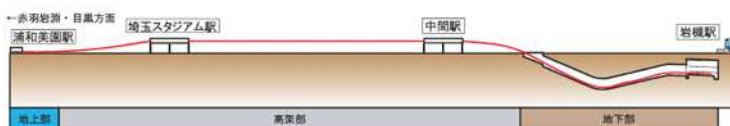
- ▶地下鉄7号線（埼玉高速鉄道線）の延伸は、浦和美園から岩槻を經由して蓮田までが位置付けられている。
- ▶延伸によって新たな南北軸が生まれ、格子状の鉄道ネットワークが形成される。

延伸ルート図

平面図



縦断面



※駅名、ルート、構造について正式に決定したものではありません。

延伸の効果

延伸の効果 1

東京圏の鉄道ネットワーク強化

東武アーバンパークラインへ結節安定した鉄道輸送サービス提供

- ・都心部への到達性の向上
- ・乗換減少による利便性の向上
- ・鉄道空白(不便)地域の解消
- ・既存の鉄道路線の混雑緩和
- ・高齢者の移動手段(公共交通)の確保

品川・羽田空港へのアクセス利便性が向上します

東京メトロ南北線の延伸(令和4年3月事業許可)により、リニア中央新幹線の始発駅である品川駅や国際競争力強化の拠点となる同駅周辺地区へのアクセス利便性が向上します。

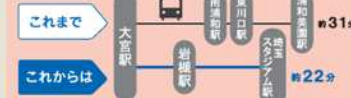
乗換回数の改善により埼玉県東部・中央地域から羽田空港へのアクセス利便性が向上します。これにより、防日観光客などの交流人口の拡大、「人と人・モノ」をつなぐ交流ネットワークの構築に寄与します。

岩槻駅への延伸により鉄道ネットワークが充実します

トピックス1 岩槻駅から都心へ直結



トピックス2 埼玉スタジアムへのアクセスも便利に



<概要イメージ>



延伸の効果 2

災害時等の代替路線機能の充実

多様な代替ルートによるリスク回避

- ・通勤、通学の平行路線延伸の代替
- ・延伸線沿線の埼玉スタジアム、各種公共施設と連携した災害時のリスク対応

●代替ルートが充実し、懸念される首都直下地震や災害時等のリスク回避に寄与します。

トピックス3 埼玉高速鉄道線による災害時の輸送

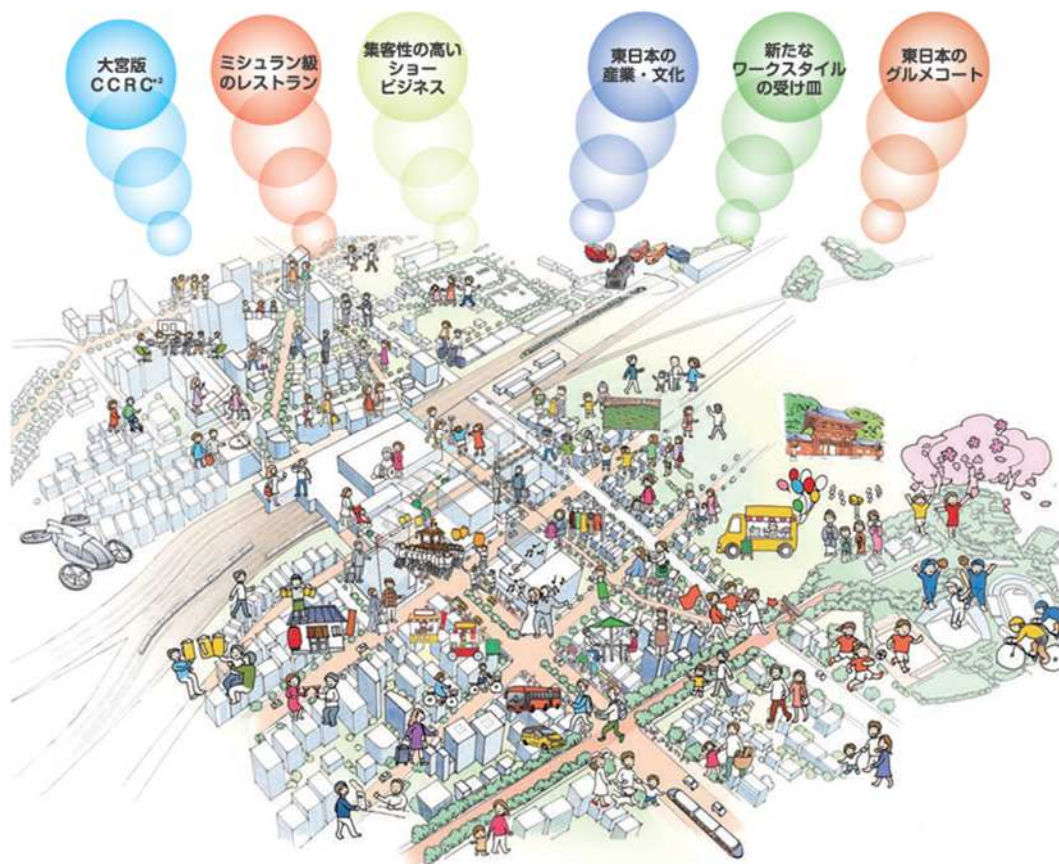
- 東日本大震災(平成23年3月11日)
即日復旧(21:30運転再開) 終夜運転実施
11,265人振替輸送
- 千葉県北西部地震(令和3年10月7日)
22,753人振替輸送

トピックス4 災害時等に延伸線と並走する東北自動車道との連携

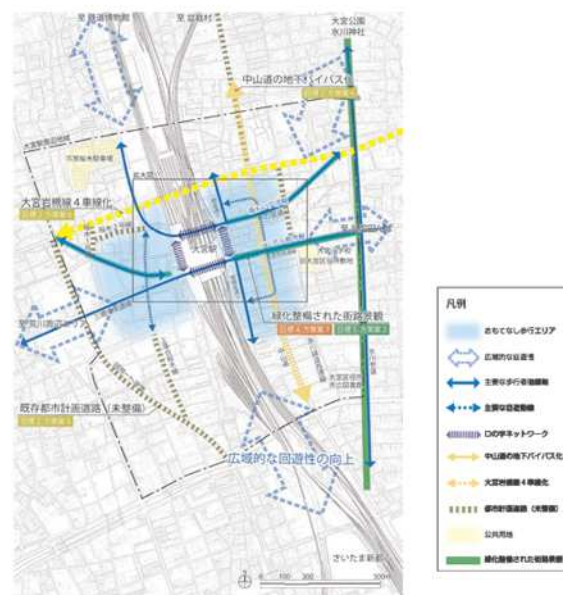
- 東北自動車道と連携した物資搬送、人員輸送も可能
浦和IC、岩槻IC

(3)大宮G C S化構想

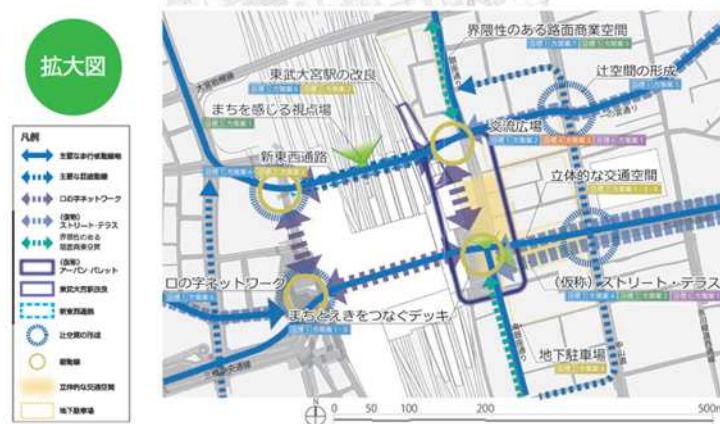
▶ 大宮駅グランドセントラルステーション化構想（大宮G C S化構想）は、駅前広場に隣接する街区のまちづくり、駅前広場を中心とした交通基盤整備、乗り換え改善等を含めた駅機能のさらなる高度化を三位一体で推進するものである。



広域方針図



拡大図



(4)大宮駅西口交通結節点事業計画

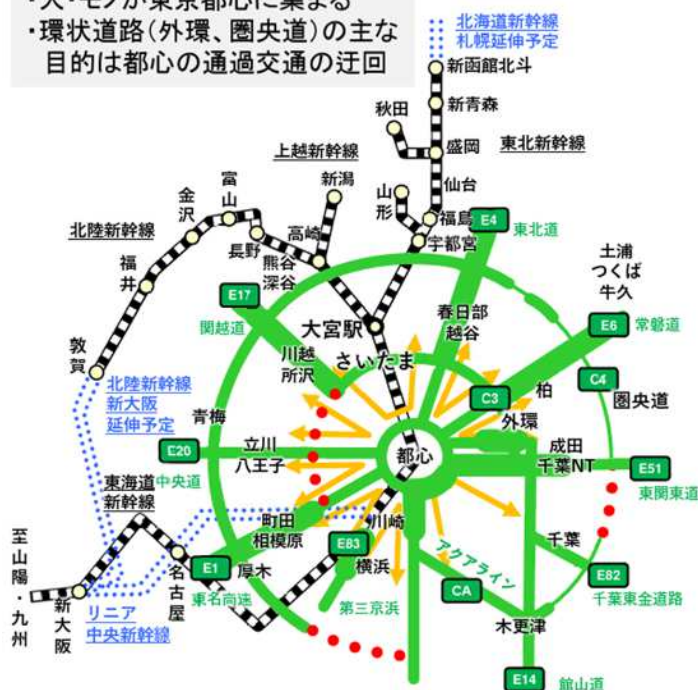
- ▶ 大宮駅西口において関係機関連携のもと、大宮駅周辺の交通結節機能の強化等に向けた事業計画の具体化が行われている。
- ▶ 基本コンセプト（案）として、交通、防災、街づくり支援、社会的課題や技術革新への対応などが示されている。

大宮駅西口交通結節点の基本コンセプト(イメージ図案)

- 『大宮駅』と計画中の『核都市広域幹線道路』の結節により、『大宮駅』を經由して、東日本・首都圏各地へのシームレスな移動を可能とする。
- 首都圏の都市構造を『東京一極集中型』から『対流型首都圏』への強化に寄与する。

現状：『東京一極集中型』

- ・人・モノが東京都心集まる
- ・環状道路(外環、圏央道)の主な目的は都心の通過交通の迂回



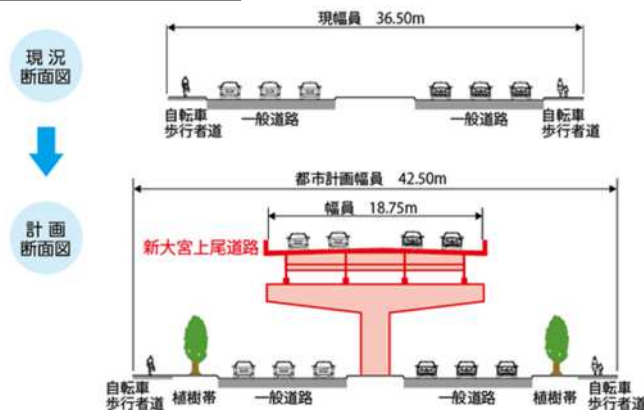
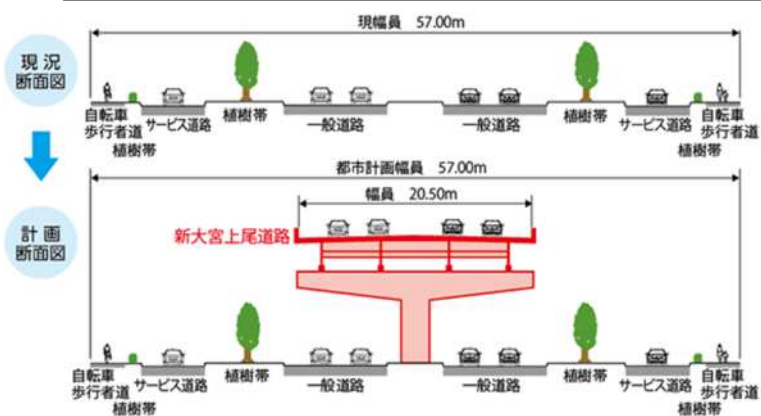
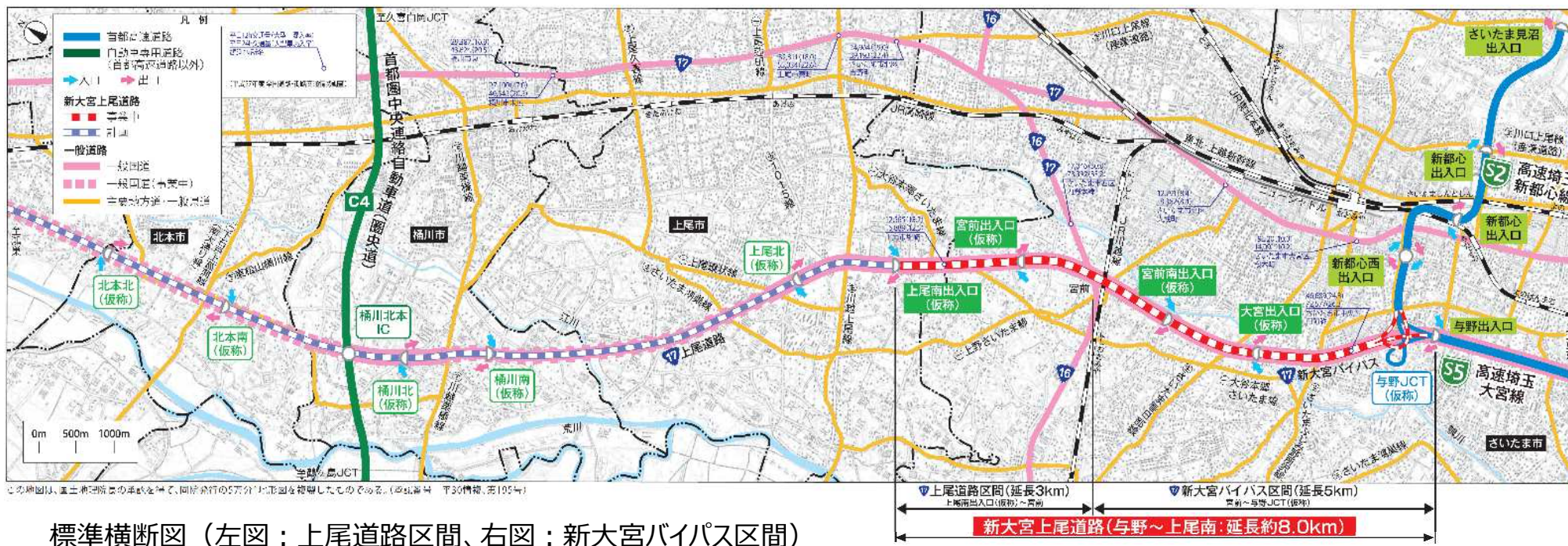
将来：『対流型首都圏』

- ・大宮駅経由で、東日本・首都圏各地へ移動できる
- ・業務核都市(郊外の大きな都市)を広域的に連結



(5) 新大宮上尾道路

▶ 国道17号の慢性的な交通渋滞の緩和や埼玉県中央地域の健全な発展などを目的とし、新大宮上尾道路の整備が進められている。



■ 課題

- ・大宮スーパー・ボールパーク構想の実現に向け、交通混雑のさらなる悪化を懸念する声が見られ、混雑変化の見通しや影響軽減策の検討が必要となる。
- ・周辺では基盤整備を伴うプロジェクトが進行中だが、現時点では不確定要素も多いため、取り組み時期の確認や効果と影響を確認する必要がある。

■ 論点

- ・現状の交通状況を把握したうえで、影響や対策を検討すべきではないか。
- ・各種プロジェクトの取組状況や相互の影響を確認するため、最新の情報を整理し相互確認すべきではないか。
- ・プロジェクトは時間を要するため、影響軽減策を考える上では近年のモビリティの変化や交通行動の変化を考えるべきではないか。

■ 情報提供のお願い

- ・各道路管理者（さいたま市、国土交通省）から、現在の道路交通状況の整理に必要なデータ提供について協力を依頼
- ・各種プロジェクトや取り組みに関する最新情報の提供を依頼

開催	議題案	備考
第1回 (R7.12.25)	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮スーパー・ボールパークの概要 ・現在の交通状況 ・関連プロジェクトの状況 ・今後の進め方 	
第2回 (R8.〇)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通を取り巻く潮流、トレンド ⇒モビリティの変化や交通行動の変化、大規模イベント時の交通対策事例の紹介 ・各種プロジェクトの時間軸整理、プロジェクト相互の影響整理 ⇒各種プロジェクトのスケジュールを精査し提示 ⇒各種プロジェクトがもたらす効果や影響を重ね合わせ提示 	
第3回 (R8.〇)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の方針（影響軽減策の実現に向けた方針） ⇒対策事例や、各種プロジェクトのスケジュールを加味し 今後検討すべき項目・内容・対象範囲を提示 ⇒影響軽減策候補を掲示 ⇒今後のスケジュール 	